

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-219815

(43)公開日 平成5年(1993)8月31日

(51)Int.Cl.⁵

A 0 1 D 34/70

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

Z 8502-2B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-26477

(22)出願日 平成4年(1992)2月13日

(71)出願人 000000125

井関農機株式会社

愛媛県松山市馬木町700番地

(72)発明者 名畑 悟

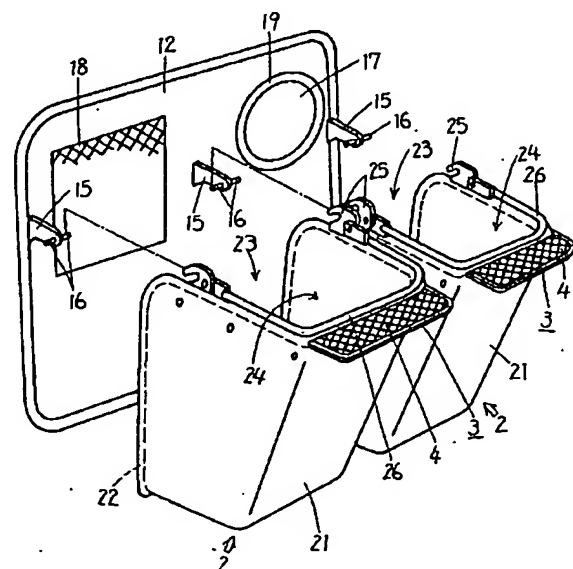
愛媛県伊予郡砥部町八倉1番地 井関農機
株式会社技術部内

(54)【発明の名称】 モーアコレクタのコレクタバッグ

(57)【要約】

【目的】モーアで刈取られた芝草の搬入を受けて収容するコレクタバッグ2のエア抜きを行って、芝草収容を効率的に行わせる。エア抜網4が取手部3に設けられているため、芝草収容時の邪魔にならず、運搬、取扱等に便利である。

【構成】モーアコレクタ1に着脱自在で刈取られた芝草を収容するコレクタバッグ2上端外周部の取手部3に、芝草収容時の搬送エアを排出するエア抜網4を有してなるモーアコレクタのコレクタバッグの構成とする。



AVAILABLE COPY

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 モーアコレクタ1に着脱自在で刈取られた芝草を収容するコレクタバッグ2上端外周部の取手部3に、芝草収容時の搬送エアを排出しうるエア抜網4を有してなるモーアコレクタのコレクタバッグ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、モーアで刈取られる芝草を収容するためのコレクタバッグに関し、コレクタバッグをモーアに装着して使用するときの、刈取芝草の搬送収容を円滑に行わせようとするものである。

【0002】

【従来の技術、及び発明が解決しようとする課題】モーアで刈取られる芝草を収容するためのコレクタバッグは、網材で構成して、刈取芝草の搬入収容時に、搬送エアをバッグ外周へ排出させることによって、芝草搬送の抵抗を少なくするようにしているが、このコレクタバッグ内に芝草が収容堆積されるに伴って、網目は閉塞されて、順次搬送抵抗を増すこととなり、芝草収容の効率が悪い。

【0003】

【課題を解決するための手段】この発明は、モーアコレクタ1に着脱自在で刈取られた芝草を収容するコレクタバッグ2上端外周部の取手部3に、芝草収容時の搬送エアを排出しうるエア抜網4を有してなるモーアコレクタのコレクタバッグの構成とする。

【0004】

【作用、及び発明の効果】モーアコレクタ1にコレクタバッグ2を取付けてモーア作業を行うときは、モーアで刈取られた芝草がシュータ等で搬入されて、コレクタバッグ2に収容される。このとき吹込まれる搬送用のエアは、このコレクタバッグ2上端外周部のエア抜網4からバッグ外へ排出されて、芝草をコレクタバッグ2の上端まで収容させる。

【0005】このようにして、コレクタバッグ2に芝草が収容されると、このコレクタバッグ2をモーアコレクタ1から取外して、この上端外周部の取手部3を把持して搬送し、所定の場所乃至容器等に移すものである。芝草を排出した後のコレクタバッグ2は再びモーアコレクタ1に取付けてモーア作業姿勢とする。このようにコレクタバッグ2は、上端外周部の取手部3を持って運搬取扱いを行うことができるが、この取手部3にエア抜網4が設けられているために、芝草の搬入収容時には、芝草がコレクタバッグ2の上端に達して一杯になるまで、このエア抜網4が詰り難く、芝草搬入抵抗を少なくして、芝草収容を速やかに行わせることができ、芝草収容の邪魔になり難く、構成も簡単化できる。

【0006】

【実施例】モーア5は、モーアデッキの下面に沿って複数のブレードを回転伝動させて、刈取った芝草をモーア

2

デッキの一侧のシュータ6へ集送する構成で、トラクタ車体7の腹部に装着される。8は前車輪、9は後車輪、10は操縦席、11はステアリングハンドルである。該モーア5からシュータ6を経て刈取られた芝草の搬入を受けるモーアコレクタ1は、上下方向面に沿う取付枠12と、この取付枠12の後側に着脱するコレクタバッグ2と、コレクタバッグ2の上側を覆うコレクタカバー13とからなり、該取付枠12が車体7後端のヒッチ14に対して着脱自在である。

【0007】取付枠12は、板状の後側面に取付アーム15を左右に配設して、各取付アーム15の先端に横方向の支持ピン16を有する。この支持ピン16に各コレクタバッグ2やコレクタカバー13等を取付けた状態では、これらの前側開口面を閉鎖するコレクタ壁面を形成し、収容する芝草を受けるものである。又、この取付枠12の上部一側には前記シュータ6をのぞませるシュータ口17を設け、又他側部にはエア抜網18を設ける。該シュータ口17はシュータ6と間隙をなくするようにゴム材等のシール部材19を有する。又、エア抜網18の前側には排気を下へ案内するフード20を設けている。

【0008】コレクタバッグ2は、該取付枠12の後側に左右二連に取付けることができ、左右両側面から底面及び後面に亘ってクロス乃至合成樹脂シート等によってバッグ壁21を形成し、前面開口23から上面開口24に亘って開放し、この開放縁に沿って縁枠22を設けている。この縁枠22の左右上端にフック25を有して、前記支持ピン16に引っ掛けて取付けたり、又、この支持ピン16から取外することができる。このフック25を支持ピン16に取付けた姿勢では、コレクタバッグ2の前面開口23が取付枠12のコレクタ壁面に密着して閉鎖されることとなり、シュータ6から搬入される芝草を収容堆積させる。このフック25部に上面開口24を左右に亘るループ状のハンドル26の両端を枢着している。このハンドル26は上面開口24の後側へ倒すことができ、この上面開口24の上端縁に沿って重合できる。

【0009】エア抜網4は、この上面開口24の後縁部において、前記縁枠22から後方へ適宜幅に亘って突出させて形成される。このエア抜網4は目抜板形態とするもよく、金網材や合成樹脂成形材等から構成されるもよいが、網面が軟らかいものであるときは、外周部を補強したり、取手部27(図6)を設ける等によって、このエア抜網4部に取手部3を設ける。この取手部3と前記ハンドル26とを持ってコレクタバッグ2を持ち運び乃至取扱いできるものとする。

【0010】なお、前記エア抜網4は、図1、図2のように平面形態とするもよく、図8、図9のように後半部分を上方へ折り曲げた形態とするもよい。コレクタカバー13は、上面開口24上を左右に亘るようにループ状

3

に形成されたカバー枠28、29、30を、ボス部31を中心にはほぼ90度の範囲で拡張回転自在に設け、このボス部31のボス穴を前記左右両側方の支持ピン16の一端に嵌合させて、座金32、ピン33等で抜け止めして取付けることができる。カバー枠28は前記取付枠12の後側面に沿わせることができ、カバー枠30は上面開口24からエア抜縁4の上面に亘って沿わせることができ、これらのカバー枠28、29、30の外周面をターボリン製、クロス製等のシート34で被覆し、該カバー枠28、29、30の回転によって拡張自在とするコレクタカバー13の構成としている。

【0011】ハンドル26を上面開口24上縁に沿うように回転させて、フック25を支持ピン16の内側に係合させると、この前面開口23は取付枠12によって閉鎖される。この上側にコレクタカバー13を、ボス部31の支持ピン16外側端への嵌合によって取付けて、カバー枠28と30を前後一杯に拡張させる。これによってシート34は取付枠12の後面からエア抜網4部上に亘って、上面開口24上を覆う。

【0012】モータ5で刈取られる芝草は、シュート6からこの各コレクタバッグ2内へエア搬送されて、このときのエアは、エア抜網4や18等から外部へ排出され、芝草だけがコレクタバッグ2内に収容堆積される。各コレクタバッグ2内が芝草で一杯に充填されると、このコレクタバッグ2内の芝草を一旦排出する。このときコレクタバッグ2を取付たまゝの状態では排出作業を行うときは、操縦席10から運転者が後方へ手を延して取手部3乃至27を持って、上方へ回転操作すれば、コレク

4

タバッグ2は前面開口23部が取付枠12から離間するため、図6のようになってコレクタバッグ2内の芝草がこの前面開口23から下方へ排出される。なお、このような操作は、別途連動機構等によって、遠隔操作しうる構成とするもよい。

【0013】又、コレクタバッグ2を取外して排出作業するときは、フック25を支持ピン16から外すことによって、ハンドル26と取手部3とを両手で持って、コレクタバッグ2の前面開口23や上面開口24等を上側に向けた状態で、できるだけ芝草が外側にこぼれないようにして搬送し排出する。

【図面の簡単な説明】

図はこの発明の一実施例を示す。

【図1】コレクタバッグの取付状態を示す斜視図。

【図2】その一部の取扱状態を示す斜視図。

【図3】コレクタカバーの取付状態を示す斜視図。

【図4】コレクタの後面図。

【図5】側断面図。

【図6】作用を示すコレクタの側断面図。

【図7】全体の側面図。

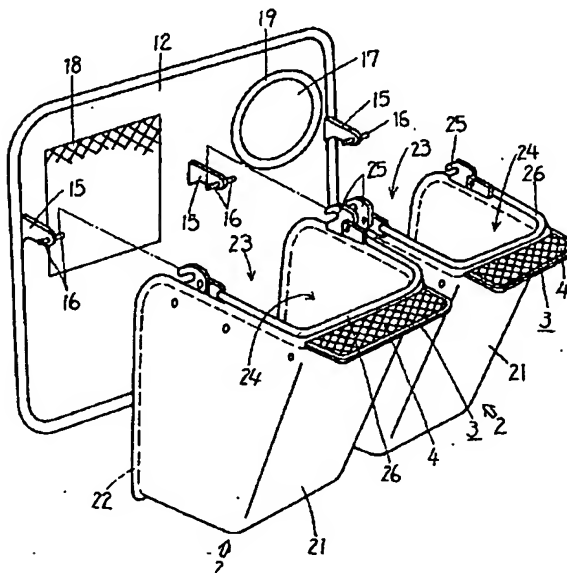
【図8】一部別実施例を示すコレクタバッグの斜視図。

【図9】その側断面図。

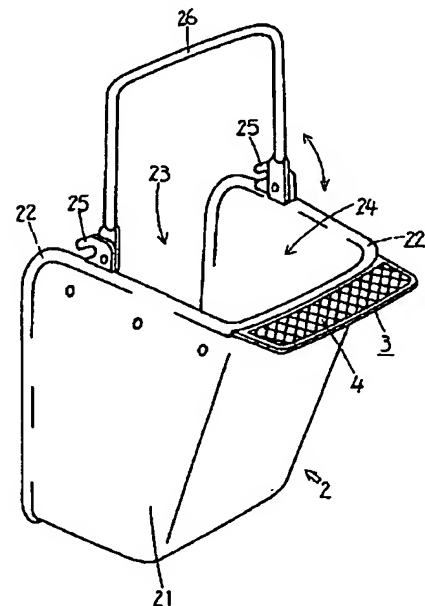
【符号の説明】

- 1 モータコレクタ
- 2 コレクタバッグ
- 3 取手部
- 4 エア抜網

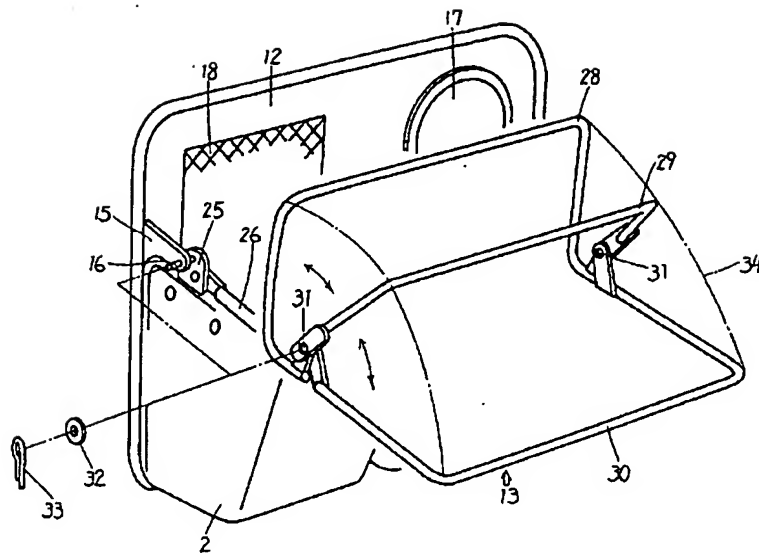
【図1】



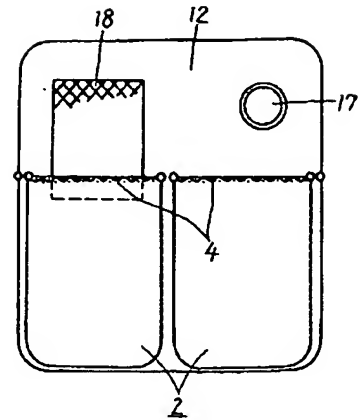
【図2】



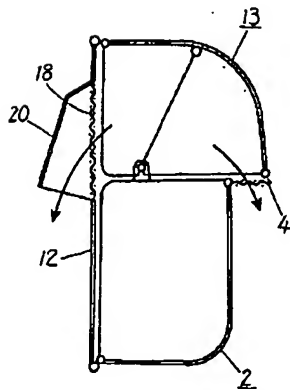
【図3】



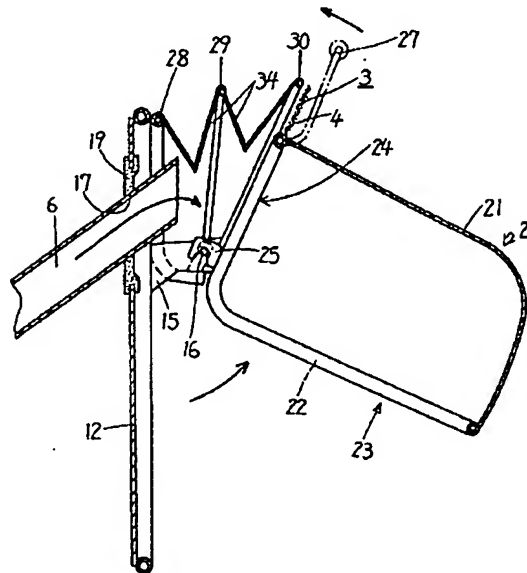
【図4】



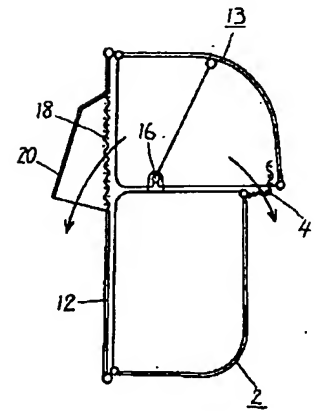
【図5】



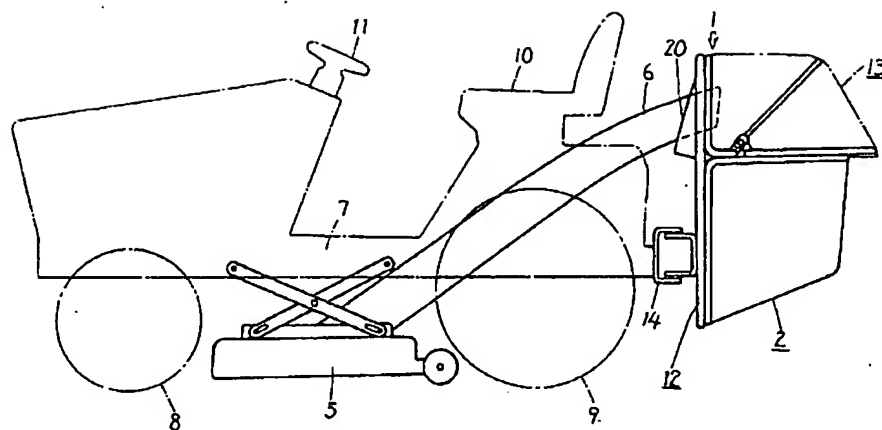
【図6】



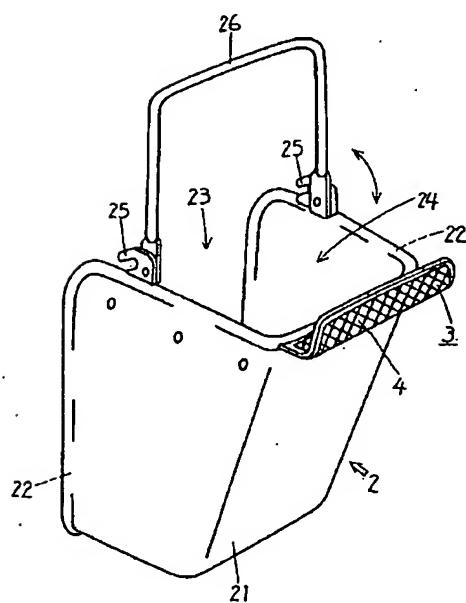
【図9】



【図7】



【図8】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.